
ジャンヌダルクのブログ炎上記

由一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ジャンヌダルクのブログ炎上記

【Nコード】

N9299Y

【作者名】

由一

【あらすじ】

ブログにハマるジャンヌダルク。
しかし、ここに来て問題が……

私はジャンヌ＝ダルク。

日本人「十字 まもり」に転生した私は、最近ブログにハマっている。

「ラ・ピュセル」と言うブログだ。

主に、私の前世に受けた神の啓示を載せている。

順調に閲覧者を伸ばしていた私のブログだったが、この度大問題が発生した。

問題の経緯はこうだ。

まず、私の記事への書き込みにこんなコメントが来たのだ。

「シね！ このキチガイ野郎のブログマジツマンネ」

私は、コメントには全て返信する主義だったから、勿論これにも次のように答えた。

「神の啓示を冒瀆するものは、大いなる裁きを受けるだろう。早々に名を名乗り謝罪せよ」

これが、導火線となった。

記事に、次々と非難、揶揄、暴言、応援等様々なコメントが大量に送られてくきたのだ。

所謂「炎上」である。

アクセス数は数倍になり、何と、一日5000を突破するまでに

なった。

こうなると下手をすればブログ閉鎖、最悪本人の気が病んで天に召される事もあると言う。

しかし、私は一度生きて、戦い、死んだ経験と言うものがある。この程度の問題でくたばるほど軟弱では無い。

冷静に状況を見ながら、更新は淡々と続けた。

勿論、この燃え上がった火の子達に、静まるよう促す内容も含めた。

しかし、なかなか、事態は收拾しない。
寧ろ、その火力を強めていった。

人間とはやはり愚かなものだ。これでは、死体に集るハイエナと同じではないか。

いや、ハイエナは生きるためにやっている。

目的もなくやっている彼らと比べるのは申し訳ない話だろう。

そして、1週間がたった頃。コメントの中に気になる内容を見つけた。

「本当に、あなたなのですか？ 本当のあなたならばお答えください」

さらに、名前の欄には「ジルドレイ」とあった。

ジルドレイは、一応かつて共に戦った仲間である。

まさか、あの男も私と同じように転生したのだろうか？

コメントを返してみる。

「私は、正真正銘ジャンヌダルクだ」と。

それから数日。

私は、チヨコスティックを食べながら悶々とそのコメントへの返答を待った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9299y/>

ジャンヌダルクのブログ炎上記

2011年11月27日21時52分発行